

dialogue

Taiwa town assembly official report

Volume

170

9月定例会

平成23年11月1日

たいわ 町議会だより



どきどきドッキン
大和町保育所運動会

22年度決算質疑

一般質問者12名

大和町保育所民営化移行への課題ほか

政務調査費の報告、研修レポート

5～12ページ

13～25ページ

26～28ページ

本社工場操業開始



9月定例会

(会期 9月5日～16日)

内 容

条例の改正や補正予算、22年度決算や人事案件等を慎重に審議しました。
 一般質問は12人の議員が、町の対応や考えを問いました。

全議案可決

9月定例会で、このようなことを審議しました

※採決数は賛成・反対を合せて17が最大です。

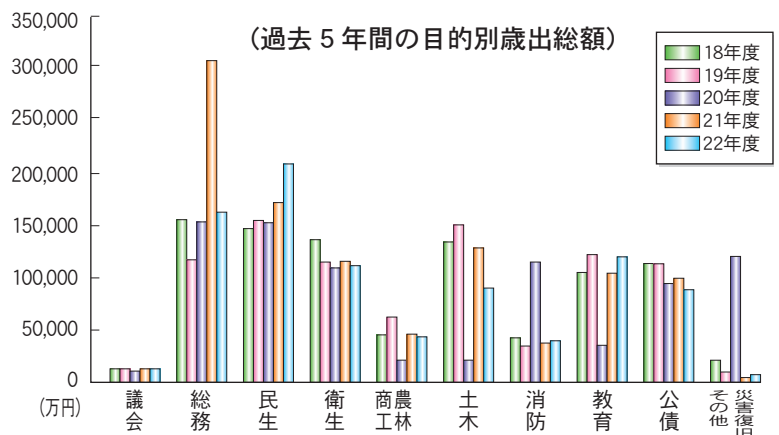
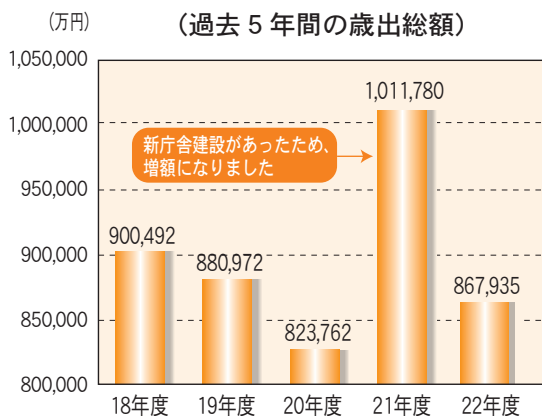
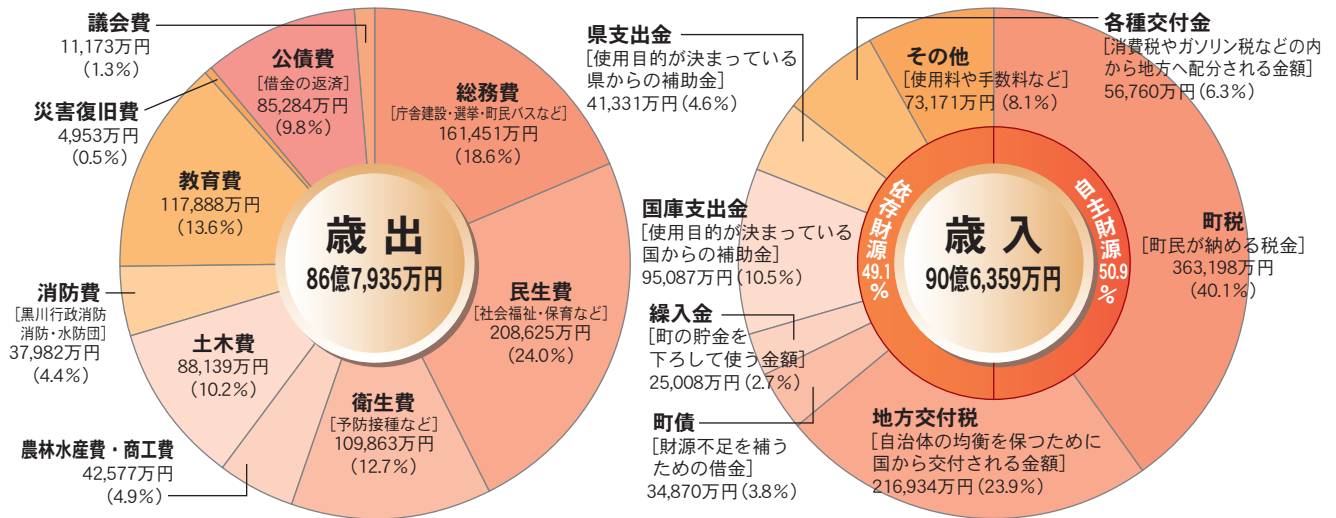
条 例	結果	賛：反
税条例等の一部を改正する条例	可決	17：0
都市計画税条例の一部を改正する条例	可決	17：0
その他	結果	賛：反
道路改良舗装工事（町道吉田落合線）請負契約	可決	17：0
公共駐車場整備工事（町道天皇寺高田線）請負契約	可決	17：0
災害復旧工事（町道新田線）請負契約	可決	17：0
下水道災害復旧工事（大和-1、2処理区分外2件）請負契約	可決	17：0
人事（教育委員の任命）	可決	17：0
請願書（現区画整理組合事務所の存置延長に係る請願書）	付託	17：0

22年度決算			23年度補正予算				
	結果	賛：反		結果	賛：反		
一般会計	認定	16：1	一般会計	可決	17：0		
特別会計	国民健康保険会計	認定	17：0	特別会計	国民健康保険会計	可決	17：0
	介護保険会計	認定	17：0		大和町介護保険会計	可決	17：0
	宮床財産区会計	認定	17：0		後期高齢者医療会計	可決	17：0
	吉田財産区会計	認定	17：0		下水道会計	可決	17：0
	落合財産区会計	認定	17：0		農業集落排水会計	可決	17：0
	奨学事業会計	認定	17：0		合併浄化槽会計	可決	17：0
	老人保健会計	認定	17：0		水道事業会計補正予算	可決	17：0
	後期高齢者医療会計	認定	17：0				
	下水道会計	認定	17：0				
	農業集落排水会計	認定	17：0				
	合併浄化槽会計	認定	17：0				
	水道会計	認定	17：0				

東京エレクトロン宮城(株)



平成 22 年度一般会計決算



台風15号による被害状況調査



堤体が決壊した小谷沢ため池（幕柳地区）

請願書（1件）

【請願書名】現区画整理組合事務所の存置延長に係る請願書

【請願者】大和町吉岡南第二土地区画整理組合 代表理事長 本田昭吾
【紹介議員】中山和広議員 中川久男議員 馬場久雄議員

松川利充議員 藤巻博史議員

趣旨 現在、大和町役場庁舎敷地内に所在する大和町吉岡南第二土地区画整理組合事務所敷地は、大和町との協定に基づき平成24年3月31日までを限度として使用を承認されておりますが、当方の諸事情により使用期限である平成24年3月31日を更に組合事業完成まで数ヶ年延長して頂きたいと強く請願する。

【審議結果】委員会付託 賛成17 反対0

この請願は、総務常任委員会と産業建設常任委員会に付託され、今後調査されます。調査結果は議会（12月定例会）で報告され、採決される予定です。

人事に同意

教育委員

佐藤ゆり子氏（51歳）鶴巣北目大崎

【審議結果】同意 賛成13 反対2 無効2

各課の事業をチェック

決算特別委員会を設置

全課の決算を細かく審査するため、9月12日から16日までの間、決算特別委員会を設置し内容を検証しました。



今回の決算委員会は、大友勝衛議員が委員長となり進められました。

保	町	税	財	総	各課名の略マーク
保健福祉課	町民課	税務課	財政課	総務まちづくり課	
水	都	産	生	教	環
上下水道課	都市建設課	産業振興課	生涯学習課	教育総務課	環境生活課

※5ページから8ページは、各委員が各課長等に質問した内容です。9ページから11ページの代表質疑は、各常任委員会の代表者が町長へ質問した内容です。

総 委員 若い人いないの
選挙を身近に感じていただくために若い人を中心とした立会人を募集しては。

総務まちづくり課長 ホームページなどで募集を行い、若い方が参画できる環境をつくる。新成人者にもPRをする。

総 委員 時間をためて
選挙投票時間の繰上げの考えはないのか。

総務まちづくり課長 宮床第3投票所(難波生活センター)は2時間の繰上げ、ほか12投票所は、1時間繰り上げということで選挙管理委員会で定めた。

総 委員 もっと笑顔で
職員の接遇は町のイメージを大きく左右する。

総務まちづくり課長 改善点や職員の意見を吸い上げ成果を窓口に反映させる。

総 委員 早い情報を
59地区ある区長に対し、災害時での連絡体制や反省点はあるか。
総務まちづくり課長 情報がしっかり住民に届くようにしていきたい。

財 委員 いつまで借りるの
旧NTT吉岡営業所を、町の倉庫と地域振興公社の事務所として借りる必要があるのか。

財政課長 書類整理をしたが減らないのでデジタル化など今後検討する。



いつまで借りる旧NTT

環 犯罪です
委員 ゴミの不法投棄を防止するため、原因者を特定し、運搬・処理費用を負担させるべきである。

環 環境生活課長 引き続き監視体制を強化し、特定者に対しては適正に対応する。

環 助成します
委員 クリーンステーションへの補助は。

環 環境生活課長 補修も一部補助している。

教 いつ直るの
委員 吉田教育ふれあいセンター・宮床中学校体育館屋根のさびがひどい。修繕計画は。

教 教育長 吉田教育ふれあいセンターは修繕を予定している。その他は来年度以降に順次整備する。



さびが目立つ吉田教育ふれあいセンター

保 保健福祉課長 協議会の体制、町との連携、調整の関係もある。それらも含めて連携強化しながら反省のもと対応していく。

町 相談してください
委員 自殺予防に力を入れていますが、予防対策事業の取り組みは。

保 保健福祉課長 精神保健福祉士の国家資格を持った方

を生活家庭支援委員として配置し相談業務を行っている。

保 保険証は大事
委員 国民健康保険の短期被保険証と資格証明書の発行件数は。

町 町民課長 短期被保険証が287件・資格証明書は35件。

教 借りたら返そう
委員 奨学金貸し付け事業で返済金未納者への対応は。

教 教育総務課長 返還が無いと次の人に貸せないのでも後も厳しく言っていく。

生 何年もつもの
委員 総合体育館屋上の防水シートを張り替えたが耐用年数は。

生 生涯学習課長 防水耐用年数は10年である。

生 城跡発見か
委員 旧農協跡地の発掘調査でどのようなことがわかったのか。

生 生涯学習課長 お城の堀跡の可能性のほか土師器、須恵器、陶磁器が発見された。

保 動きがみえなかった
委員 今回の震災で社会福祉協議会の働きが全く見えなかった。今後の社会福祉協議会のあり方は。



命を大切に

産 **もっと元氣な街を**
委員 商店街活性化対策事業の成果と今後の方向は。

産 **産業振興課長** 空き店舗を活用して「まるごと茶屋」として地域へ貸し出している。

産 **PRに役立っている**
委員 PRに役立っている。観光費の補助金の使い道と成果は。

産 **産業振興課長** まほろば夏まつり、観光物産協会、おたち酒などがある。島田飴

は全国レベルになってきている。

産 **良縁あります**
委員 島田飴まつり、花嫁道中を行っているが歴史や文化など、県外に発信できる事業だが、通過型観光になっていないのではないかと。

産 **産業振興課長** 縁結びの効果があり、沿道の出店にも入る工夫を考えている。また、一般のボランティアを募り、まつりを盛り上げた。



みんなが集う「まるごと茶屋」

産 **刈り払いだけ?**
委員 旗坂キャンプ場の管理は、刈り払いのほかにどのようにしているのか。

産 **産業振興課長** 週一回を目安にしてキャンプ場のトイレ清掃と水場の管理をしている。登山道は升沢、色麻両方から刈り払いしている。

産 **まちをアピール**
委員 企業誘致に関して定住促進に向けての住環境PRデーを開催したが、成果と反応は。

産 **企業誘致対策官** 本社工場に向き、本町のPRを行った。

産 **知っていますか**
委員 割り増し商品券での活性化の効果は。

産 **産業振興課長** 吉岡地区中心に利用者が固まっている。

産 **松は大丈夫**
委員 松くい虫の被害状況は。

産 **産業振興課長** 伐採本数は174本あり、被害面積は



良縁を求めて（花嫁道中）



被害が拡大している松林

産 **もうかっているの**
委員 産直リース事業
はどのような成果があった
のか。

産業振興課長 21年度で1
21・6%と販売実績が伸
びている。

都 **そのたびに書類出すの**
委員 町営住宅は定期
募集しているのか。申し込
み書類はその都度出すのか。

都市建設課長 空いたら募
集する。昨年度は2回募集
した。募集の方法は検討す
る。



支援のおかげです



都 **建替するの**
委員 町営住宅を今後
どうするのか

都市建設課長 子育て住宅
高齢者対応住宅などを含め
検討する。

都 **高いの、安いの**
委員 15地区の地元
除草をお願いしているが単
価の出し方は。

都市建設課長 地区除草の
算出方法は、県の積算基準
があり、それを参考に町の
単価で支払っている



上 **なかなかすすまない**
委員 合併処理浄化槽
をどう前進させるのか。

上下水道課長 区長と相談
し、地域に出向き説明会な
どで周知していく。

上 **いつ終わるの**
委員 老朽管対策の内
容は。

上下水道課長 平成11年か
ら整備を行ってきた。22年
度現在800m程残るが2
6年に終了する。ただし、
土保田地区890mは残る。



子どもたちのため

都 **通学を安全に**
委員 歩道の除雪は4

日しかないが、通学には支
障はなかったか。また、保
護者からの苦情はなかった
か。

都市建設課長 歩いての登
校に支障がないように除雪
している。苦情は無かった。

上 **地震でも大丈夫**
委員 地震でも耐えら
れる下水道の延命化なのか。

都市建設課長 セメント系
の土で固め浮上を防止する。

教 中学生が大活躍

委員 2月8日町政施行

55周年記念事業で中学生議会が開催された。災害時などに中学生として出来ることを考え実行する意識の向上を目指す決議がされ、中学生の防災意識の高さを確認できた。東日本大震災では決議のとおり校庭に避難した大和町保育所の幼児にテントを張り、毛布や防寒着を着せて励ますなど実践してくれた。中学生が取

り組もうとしている防災意識の高揚を今後どのように伝えていくのか。

頼もしく感じる

町長 今回の地震は経験したことのない大震災であり被害が甚大であることを後世に伝えていく。今後は防災、避難訓練や総合学習、道徳の時間を利用し思いやりやボランティア精神を育むことに努める。



活発な質疑が行われた中学生議会

教育総務課に問う

ほりごめひでこ
堀籠日出子
社会文教常任委員会 代表

教 ただ食いはダメです

委員 学校給食費の滞納

額は年々増加し22年度では229万円となった。その中で、吉岡小学校と大和中学は185万円となっている。滞納対策として新たな徴収方法を考えるべきではないか。また、滞納額の少ないうちに徴収強化を図ってはどうか。

悪質者には法的処置

町長 徴収、督促は学校給食センター、職員の協力を得て、保護者負担の少ないうちに解決に取り組む。また、状況を調査しながら家庭、職場を訪問し悪質な滞納者には法的手続きをとる。さらに町税等含む徴収体制の見直しを行い収納向上に努める



おいしくつくってます (学校給食センター)

水 水漏れを防げ

委員 有収率88・2%となつてはいるが、有効に使用されなかつた無効水量11・8%もある。計画的な漏水対策をすることにより、水道水の安定供給と経営の効率化を目指し、健全な企業経営が図られるのではないかと。

耐震管での対応

町長 過去5年間における漏水件数は、131件である。

22年度は15件と減少傾向にある。幹線配水管は、サブリートの確保と耐震管への整備を行い、安定的に給水している。

無効水量は地下漏水、消火栓用水、未供用管、漏水事故に伴う水道管の洗浄用に分類される。今後漏水の防止と無効水の減量に努める。



やっぱり老朽管

上下水道課、産業振興課、都市建設課に問う

産業建設常任委員会 代表 **大崎 勝治**

都 増える家賃滞納

委員 町営住宅入居者で家賃滞納者は許せない。滞納者は何ヶ月滞納しているのか。

保証人へも連絡

町長 滞納者は26名で、このうち、1名については、昨年6月末に住宅明け渡しと強制執行を行った。入居者で40万円以上の大口滞納者は4名いる。これまでの督促・徴収方法を見直し、未納者に対し訪問徴収、個別指導等、連帯保証人への督促強化を図り、未納者の抑制と未納金の減額に強く取り組む。



入居希望者いっぱいいます

産 地元雇用を

委員 現在の企業について誘致の状況と地元雇用どのような働きをかけたのか。

企業に強く要請

町長 企業の立地は、本町の地域経済活性化と雇用の場の確保のほか町税等の自主財源の確保など

地域の継続的な活力向上に寄与する。電子機械産業や自動車関連産業などの企業の誘致に力を入れ、雇用の創出、促進と定住人口の増加を目指す。

また、立地企業に毎年、地元高校卒業予定者を多く採用していただくようお願いしている。



長い伝統引継ぎます (北目神楽)

財

補助金を見直せ

委員 団体などへの補助金で10年以上にわたり同一に交付をしているケースが複数ある。本来は自立できるまでの期間が妥当と考えるが、補助金の見直しは考えていないのか。

改善点を精査する

町長 単独補助金は、農林商工業、文化芸術、体育振興等さまざまを対象者も個人や任意団体、会社や公的団体などに交付している。今後、事業実施成果、改善点等を精査する。

財政課、総務まちづくり課、税務課に問う

あき やま とみ お
秋 山 富 雄
総務常任委員会 代表

総

さびしい懇談会

委員 ふれあい懇談会は機能しているのか。また今後どのように進めていくのか。

行政区ごとにやります

町長 昨年度は、2団体と懇談した。町民の皆様と直接意見交換することができ、大変有意義な場と考えている。申し込み数が減っているので、広



ふれあい懇談会

税

税金払って

報紙などへの掲載等でPRしていく。また、本年度からは、各行政区単位で開催し、多くの方が参加できるようにする。

委員 町税等の多額な滞納額をどう解決するのか。

こまめに訪問する

町長 早期督促やこまめ

な臨戸訪問、各滞納者の実態調査を行い、状況に応じた差押え等の滞納整理を引き続き実施する。高額・悪質な滞納者には、宮城県地方税滞納整理機構との連携を深め、適正な滞納整理を進める。また、収納特別対策本部で予定している「ローラー作戦」で使用料も含め滞納額の縮減に努める。

予算が正しく使われたか

各会計ごとに採決

その前に討論

討論とは採決の前に反対者、賛成者がそれぞれ「なぜ反対か賛成か」意見を述べることです。

一般会計

藤巻博史議員



反対 ×

大企業は企業の倫理で動く。奨励金は企業進出の決め手にも撤退の担保にもならない。商工振興費は地元企業にこそあてるべきである。

討論

決算認定

一般会計	賛成 16	反対 1
国保会計	賛成 17	反対 0
介護保険会計	賛成 17	反対 0
宮床財産区会計	賛成 17	反対 0
吉田財産区会計	賛成 17	反対 0
落合財産区会計	賛成 17	反対 0
奨学事業会計	賛成 17	反対 0
老人保健会計	賛成 17	反対 0
後期高齢者会計	賛成 17	反対 0
下水道事業会計	賛成 17	反対 0
農業集落排水会計	賛成 17	反対 0
戸別合併処理浄化槽会計	賛成 17	反対 0
水道事業会計	賛成 17	反対 0

財政健全化指標で自治体の財政を見極めろ

自治体の財政危機を未然に防ぐために、21年度から「健全化指標」の公表が義務付けられました。財政状況は4つの指標を使って判断しますが、1つでも基準値を超えると財政健全化計画を策定しなければなりません。

区分	黄色信号 (注意)		赤信号 (財政破綻)		大和町 (平成22年度)	判定
	基準値	早期健全化団体	基準値	財政再生団体		
1. 実質赤字比率 (一般会計などを対象とした赤字の割合)	14.33%	4指標のうち1つでも基準値を超えれば『早期健全化団体』となり、自治体は自主的に財政を改善しなければなりません	20%	3指標のうち1つでも基準値を超えれば、国の管理下で財政再生を進める『財政再生団体』となります	—	正常
2. 連結実質赤字比率 (公営企業など全会計を対象とした赤字の割合)	19.33%		35%		—	正常
3. 実質公債費比率 (標準財政規模に対する借金返済額の割合)	25%		35%		10.5% (昨年度に比べ1.5%減)	正常
4. 将来負担比率 (将来にわたる実質的負債「借金」の割合)	350%				28.1% (昨年度に比べ27%減)	正常
結果：問題なし						

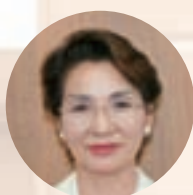
※「1.実質赤字比率」と「2.連結実質赤字比率」の基準値は、各市町村の標準財政規模によって異なります。

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字となっていないため「—」と標記になります。

一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

町政を問う

12名の議員が、町長と教育長に質問



ほりごめ ひでこ
1. 堀籠日出子 議員
大和町保育所民営化移行への
課題と対応について
他 1 件 (14 ページ)



いとう まさる
7. 伊藤 勝 議員
避難所の防災機能整備につい
て 他 1 件 (20 ページ)



たかひら としお
2. 高平 聡雄 議員
税金滞納からの生活再建
他 1 件 (15 ページ)



さくらいたつたろう
8. 桜井辰太郎 議員
道徳教育と道徳の学習について
(21 ページ)



なかやま かずひろ
3. 中山 和広 議員
原発事故による本町農林商工への
影響と今後の振興対策について
他 1 件 (16 ページ)



ふじまき ひろし
9. 藤巻 博史 議員
住宅リフォーム助成で地域経済
活性化と住環境向上を
(22 ページ)



うずらほし ひろし
4. 鵜橋 浩之 議員
多様化が求められる有害鳥獣
対策を問う 他 2 件 (17 ページ)



ばば ひさお
10. 馬場 久雄 議員
商業振興・元気な町を
(23 ページ)



ほりごめ ひでお
5. 堀籠 英雄 議員
玉ヶ池レクリエーション広場
の整備を 他 1 件 (18 ページ)



あさの まさゆき
11. 浅野 正之 議員
法定外公共物(赤線・青線)に
ついて
他 1 件 (24 ページ)



なかがわ ひさお
6. 中川 久男 議員
被災した公共施設の早期復旧
を 他 2 件 (19 ページ)



ひらわし たかし
12. 平渡 高志 議員
早く鶴巢に公園を
他 1 件 (25 ページ)



ほりごめ ひでこ 議員
堀籠 日出子

民営化する保育所の サービスは

町長 拡大・拡充に努める

議員 核家族の進行、夫婦共働き世帯の増加などで保育需要が増大するとともに、就労形態の変化などで多様な保育ニーズがある。本町では保育環境の向上を提供するため、平成25年4月開所に向け大和町保育所を民営化にするが対応は。

町長 延長保育の拡大や一時預かり・障がい児保育の受け入れなど、事業者と協議し独自サービスの提供を要望する。

議員 スムーズな移行への取り組みは。

町長 合同保育を1年間実施し、三者協議会で情報交換を図る。

議員 移行後の保育所と町のかかわりは。

町長 保育料は町が決定する。

引き継ぎ後、計画通り実施されているかの状況把握や合同会議を開催し、意見交換と情報の共有化を図る。

AEDはあるけど使えるの？

町長 職員の講習会を実施

議員 心肺停止状態になった人に電気ショックを与えることで救命できるAEDは一刻も早い応急手当てが生死を分ける。救命講習会の普及促進と公共施設への

設置が必要である。また、職員の受講状況は。

町長 職員の講習会は開いていない。今後は年次計画を立て実施する

議員 施設の設置台数と運動公園設置への取り組みは。

町長 設置台数は36ヶ所で運動公園については検討する。



講習を受ける女性消防団

多重債務からの生活再建

町長 相談員を配置

議員 町を訪れる相談者には町県民税、国民健康保険税の滞納にはじまり、低収入・経営不振・リストラ・病気・借金（多重債務）、家庭環境の悪化などが複雑に絡み合い何から解決して良いのかも分からず、「お手上げ状態」となっているケースが多い。

多重債務者に対する包括的支援ネットワークを構築すべきと考える。債務者救済で滞納整理もかなうワンストップサービス体制を確立せよ。

町長 多重債務は自殺、家庭崩壊など本人や家族に大きな影響を与えることから滞納整理などが判明した情報を担当課と共有し連携した取り組みを進める。

県消費生活センターの連携、支援で町消費生活相談窓口相談員を本年10月から週3日1名おき、相談活動を強化して行く。特に消費生活における多重債務で困っている方にとり大きな相談窓口となる。

インターンシップで町に活力を 町長 学生のパワーに期待する



宮城大学学生による健康講座（前河原地区）

想像力あふれる学生のパワーに期待しながら、大学との連携を一層緊密にして対処する。

町長 宮城大学の先生のアドバイスで各種計画書作成に大きな成果を上げている。また、大学、町双方において体験就労以上の刺激を受け、情報交流の機会として非常に効果的な機会となる。

議員 大和町に県立宮城大学が立地している。近年、地方自治体がインターンシップを活用した町づくりに取り組んでいる。大学が持つ知的財産と若い学生の想像力やパワーを活用すべきではないか。



たか 高 議員
ひら 平
とし 聡
お 雄

原発事故による 産業への影響は

町長 元気な地域振興に努める



なか やま かず ひろ
中 山 和 広 議員

議員 原発事故は、本町の農林水産物及び商工・観光に対しどのような影響があるのか。

また、第四次総合計画での農林水産業及び観光も含めた商業の振興推進はどのように考えているのか。

町長 商業・観光への影響については「食の安全・安心」が一番で、特に風評被害が心配される。米は、県・町・JA・生産者などと連携し調査する。

今後、農林水産業及び観光も含めた商業の振興を計画的に進める。

安全・安心のため関係機関・団体等と情報を共有し風評被害をふせぎ元気を取り戻せるよう地域振興に努める。



放射能の心配はありません

財産区のあり方を検討しては

町長 意見を聞いて慎重に

議員 財産区からの支出の中で公共事業以外に各種団体への支出があり、財産区

の無い地区の団体との間に不公平感が生じている。

合併56年を経過した今、財産区の目的は達成されたものと思う。

改めて財産区のあり方を検討すべきではないか。

町長 財産区の運営は、「その住民の福祉を増進すること」と、「市町村の一体性を損なわないこと」

の二大原則がある。各種団体への補助金等は一般会計

を通じて助成している。

合併後56年を経過しているが、それぞれ歴史的背景もあることから、多くの方々の意見を聞き慎重に対応する。

イノシシの被害対策を

町長 捕獲駆除に全力を尽くす

議員 爆発的な勢いで増えているといわれるイノシシの農作物被害実態と駆除対策、及び駆除用器材は十分確保されているのか。

町長 本年5月以降吉田地区から農作物被害情報が寄せられ、箱ワナ、くくりワナで駆除にあたり一頭捕獲した。駆除用器材は必要に応じ補充整備する。

議員 ワナの免許取得者の確保対策は。

町長 ワナ免許取得者は現在4名で役場職員の免許取得も検討している。

議員 ツキノワグマの駆除頭数上限と本町への影響は。

町長 ツキノワグマ駆除頭数上限は50頭と定められたが本町への影響はない。



議員 之 浩 橋 鷓

八志田用水・土砂撤去急げ

町長 関係者と協議中

議員 八志田用水頭首工付近の吉田川河川災害復旧は進んでいるのか。堰上流の土砂が取水口に流入、水路施設への堆積が問題となっている。河川の堆積土砂撤去を急ぐべきだ。八志田用

水頭首工は町の財産でないのか。

町長 吉田川河川管理者の県側によると河川災害には該当せず、通常の維持管理事業の中で土砂撤去の手法等について関係者と協議し



増え続けるイノシシ

農産物の放射線量対策は

町長 専門機関へ依頼

議員 町内農畜産物と食の安全性アピールの観点から町独自のきめ細かな信頼できる放射線量調査体制の必要はないか。

町長 農畜産物の放射能測定は県が東北大学などの専門機関へ測定依頼をしており、町独自で調査体制を整備することは考えていない。今後の県の調査結果を注視する。

ていく。

頭首工の所有は町であり管理者が地元堰組合となっている。地元との協議を急ぎたい。



ほり 堀 籠 英 議員

名勝「玉ヶ池」の復活を

町長 計画的に修繕する

議員 玉ヶ池の史跡の看板の文字が薄くて読めない。鎌倉末期に建立された貴重な石碑にかかっている屋根のトタンの傷み、池の上の橋も板が抜け落ち通行禁止だ。池の中も泥が堆積し浅くなっている。

また、七ツ森登山や親子連れが多く訪れるので併せて、駐車場の整備も必要ではないか。

町長 行政区に除草、清掃をお願いしている。優先順位をつけ計画的に整備修繕を進めていく。

議員 湧き水を利用し化粧の水や美人の水に復元することは出来ないのか。

町長 衛生面から飲料水に利用するのは難しい。



修繕求められる玉ヶ池

大震災の課題と対応

町長 地域防災計画に反映

議員 自主防災組織はまだ半数しか設立されていないので早急に各行政区毎に進めよ。

町長 現在28組織29地区で設立され今年度中には6地区、検討するが9地区ありその他の地区には職員が向いて必要性を説明し設立を促進する。

議員 震災で肺気腫などの病気で在宅で電気を必要とする患者が自家発電燃料確保に苦慮したが対処方法は、

町長 町から電気代の補助を受けているのは18名いる。災害時は、基本的には病院に入院していただくよう考えている。今後は、緊急自動車同様の燃料購入出来る証明書の発行を検討する。

議員 南川ダム管理事務所は自家発電している。吉田ふるさとセンターに送電をし、河南地区及び難波を含んだ地区の避難所に出ないか。

町長 契約の変更や新たに配線の必要があり多額の費用がかかる。新たな避難所については地域防災計画の中で検討する。

公共施設の復旧時期は

町長 広報などで知らせる

議員 被災した公共施設は、まだ町民に開放されていない。一日も早い施設の利用を待ち望んでいる。再開の予定を町民に知らせるべきではないか。

町長 施設の利用予定団体の代表者に対し、被害状況を知らせている。再開は、復旧工事を発注した後に、広報などで町民に知らせる。総合体育館は、安全確認を行い施設の一部を開放している。



お 久 男 議員
ひ さ 川 中
が わ 中

障がい児の支援策は

町長 日中活動の支援



一部開放している総合体育館

支援センターの現状は

町長 本年運営開始

議員 障がい者地域活動支援センターについての進捗状況と、障がい児子育て支援センターの必要性についての考えは。

町長 本年4月1日より運営を開始。職員を10名から20名に増やし利用可能者も精神・身体・知的の三障がいに対応した。

町社会福祉協議会へ委託し、現在12名が作業をしている。

子育て支援センターの考えも含めて検討していく。

議員 障がい児の放課後ケアと学校が休みの時の余暇支援についての進捗状況と大和町障がい者各種計画に掲げている障がい児施策についてどのように進めるのか。

か。

町長 現在、日中活動の支援として行っている。身体介護、家事援助、行動援護、日中一時支援事業等の介護・見守りサービスに係る

支援体制などについて民間保育所、民間児童デイサービスの新設などもあったことにより、今後どのような形で支援できるものか考える。



伊藤 まさる 議員

避難所の防災機能整備を

町長 必要物資は追加し、整備する

議員 震災により天井や照明器具などが落下し、避難場所として利用できなくなるケースがあった。避難所の天井や照明器具なども含めた耐震化対策はどうするか。

町長 総合体育館、宮床基幹集落センターで天井板の落下などの被害を受けており、天井板を張らないなど落下物を考慮し、安全確保に努める。

議員 物資の備蓄、トイレの確保、避難所のバリアフリー化などの対策は。

町長 避難所マニュアルの作成や地域防災計画の修正を行い、発電機の容量を大きいものに見直して、リース会社や建設会社と災害協

定締結し、仮設トイレの設置や簡易トイレ備えを検討する。各避難所の備蓄品の内容や数量等について検討し、整備を図る。避難所のバリアフリー化についてはひだまりの丘を高齢者、障がい者の方が優先的に利用できるようにする。

太陽光発電の導入を

町長 必要と考える

議員 原発事故の影響で、学校施設においても一層の省エネルギー対策が求められる。照明器具の省エネや太陽光発電システムの導入

を考えるべきではないか。

町長 公共施設も避難所になっている事から導入の検



屋根いっぱいの太陽光発電（富谷町役場）

討も必要と考える。照明器具は、更新時期において、省エネ効果の高いものに順次代えていく。

議員 メガソーラー（大規模太陽光発電所）の誘致を図るべきと思うが。

町長 国内では研究用、公

共用、大手企業の実験活動用としてのメガソーラー発電の導入が先行されており、メガソーラーの建設構想も高まっている。民間や自治体の取り組みを検証する。

道徳教育の新たな時代へ

教育長 感動を覚える教材の活用

議員 新しい指導要領が公

示され、徳育は今まで以上に重要視されている。「新しい自分を発見し、新しい自分に出会える」ような教育の中で徳育は強調されていかなければならない。そのような生徒の心の動きを先生は信じ、心の動きを引き出し、後押しすることが徳育の役割である。

一 今までの道徳教育と新しい道徳教育の違いを伺う。

二 全ての教科の中で道徳

的価値を評価し、満足の得られる道徳の事業は出ないのか

三 校内全体で推進する、具体性のある推進体制づくりは。

教育長 学習指導要領の改訂版において、学校教育全体を通して道徳を充実させることが提案され、全教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動において、道徳の時間との関連を考慮し、それぞれの教科等の特質に応じて適切な指導をすることと明記されている。

学校において、校長先生のリーダーシップにより道徳の時間の指導に積極的に係わり「道徳教育推進教師」を中心とした推進体制を確立し、「児童・生徒自らが成長を実感でき、これからの

課題や目標が見つけられるようにする」などに重点をおいて指導することが大切である。

推進にあたって、教育委員会も係わり「先人の伝記などを題材とし、児童・生

徒が感動を覚えるような教材の開発・活用」を進める。



議員 櫻井 辰太郎



二宮金次郎（尊徳）

住宅リフォームに助成を

町長 制度を検討する



議員 史 ひろ博 まき 藤 ふじ

議員 地域経済活性化に住宅リフォームへの助成制度が注目されている。住宅のCO2削減やバリアフリー化、耐震化、長寿命化等の工事に補助を行うもので助成額の数倍の経済効果があると言われる。本町も導入してはどうか。

町長 住宅リフォーム助成制度の補助要件は、自治体によって様々ある。

補助の対象工事費を「10万～50万円」補助限度額も「10万円から30万円」とする自治体もあり、本年度限りとする自治体が多いようだ。

本町では震災で住宅に被害のあった方に住宅の利子補給し、支援を行っている。

議員 宮古市では20万円以上の工事に一律10万円を現金で支払い、交付金の4・4倍の直接効果が上がっている。宮古市長は、「今までの市の公共事業の恩恵を受けるのは大手の建築会社が多く、中小の業者はあまり仕事を得てなかった。やはり、地域でお金が循環することが大事です。」語っている。地域活性化のためにも取り組んでは。

町長 住宅リフォーム助成制度は、県内市町村の取り組み事例などを検証し、検討する。



リフォーム着工後



リフォーム着工前

商業振興・元気な町を

町長 誘客と固定客の確保が課題

議員 8月7日恒例のまほ

ろば夏まつりが開催された。例年2日間の実施を1日間としたが、成果はどうであったか。多くのスタッフを動員し町職員を含めボランティアの協力が大きい。私見だが1日だけの祭りで良いとおもうが次年度はどうするのか。

また、県の補助事業「商店街にぎわいづくり戦略事業」は3ヶ年の最終年度となる。集客増や売上増などの効果は表れているのか。

町長 今年震災の関係で

実施を1日間とし、「大和から元気を発信！」で大きな被害を受けた沿岸部の市や町からの復興ブースも交えての開催となった。商工関係者の反省会では、1日間でよいということと花火は是非実施してほしいと聞いている

また、次年度の対応を関係者の皆さんとともに考えていく。

次に、まだ事業が終了し

ていないので結果を話す状況にはないが過去2年では個店の売上は伸びたようである。

ただし、町全体を刺激し活気づかせるまでには至っていないと考えている。

人口の増加や企業数も増えてきており、恒常的に、にぎわいのある商店街をどのように構築すべきか、さらに商工会の考えを伺いながら課題の整理をしていく。



お 議員
ひさ 久
ば 場
ば 馬



夢花火



熱い熱気につつまれたまほろば夏まつり

法定外公共物（赤線・青線） 管理は適正か

町長 法に基づき管理



あさのまさゆき 議員

議員 町の法定外公共物の土地台帳は整理されているのか。

町長 法定外公共物とは、道路法や河川法などの管理に関する法律の適用受けていない道路や水路のことで、一般的には赤線や青線と呼ばれ、地域住民の公共用に供されている。譲与を受けた財産は、財産一覧表で把握できる。

議員 町が、所有する法定外公共物を適正に管理にするための規制、条例は存在するのか。

町長 町公共物管理条例・施行規則に基づき財産管理・維持管理を行っている。

一般質問

議員 法定外公共物の払い下げの手続きとその実績数は。

町長 払い下げが可能であると判断された場合、境界の確定、利害関係者の承諾などの手続きを進め、用途廃止の申請をし、用途廃止決定後に払い下げの手続きとなる。

また、払い下げの実績は平成17年から平成22年までの期間8件ある。

補助金の予算編成の考え方は

町長 内容を精査する

議員 各種名目で補助金が交付されている。町の財政も厳しい中、総点検し補助が真に必要なのか、補助効果がどのよう評価されているのか、また、新年度予算編成に対する考え方は。

町長 補助金は特定の事業研究を育成、助長するため町が公益上必要と認めた場合支出する。事業終了後実績報告書の基に事業の検証を行い、事業の効果や実施内容の状況、資金収支の妥

当性を検証している。24年度予算編成にあたり厳しい状況が見込まれており、全ての事業で内容を精査する。



早く鶴巢に公園を

町長 維持管理面も含め協議

議員 鶴巢地区には整備された公園は1ヶ所もない。

本町の公園は全体で54ヶ所あり、地区別では吉岡21ヶ所、宮床17ヶ所、吉田6ヶ所、落合10ヶ所となっている。合併して57年目、人口も2万6千人になるうとしている。町民の癒しの場、憩いの場としての公園は、大きな役割を果たしている中、鶴巢に公園がないのは非常に残念であり、早急な整備を望む。

町長 要望地は、以前鶴巢

中学校があった所で、地域の皆様には思い出深い所であると思っている。また、周囲には桜の木が植えてあり、桜の咲く頃には、地区の方々にお花見場所として利用されているようだ。公園化にあたり、維持管理面も含め今後整備の方法などについて協議をしていく。



議員 志 高 高 渡 平

消防団協力事業所表示制度の導入

町長 本年度から施行

議員 消防庁は、団員の確保と活動しやすい環境を整えるには、事業所の協力が不可欠として平成19年から

「消防団協力事業所表示制度」の導入を呼びかけて来た。交付を受けるには、3人以上の団員がいて、消防団活動のための休暇などに

配慮し、災害時には建設機械など資材を消防団に提供する。「表示」を受けた事業所は、その社会的貢献が町の広報などでPRされイメージアップの面でもメリットがある。

団員確保のためにも是非導入すべきではないか。

町長 消防団協力事業所表示制度は、本年度から施行する手続きを取っていたが、3月の大震災により、周知手続きが遅れた。

今後は、各事業所へのPRを行い認定事業所の募集を図る。



震災で大活躍した消防団

政務調査費の使い方を報告いたします

政務調査費は、町政のために必要な調査・研究のために、議員 1 人当り月額 5,000 円が町から交付されます。

平成 22 年度に交付された政務調査費収支報告書の概要をお知らせします。

単位：円

会派別収支内訳（会派または議員に対し、1 人当たり月額 5,000 円交付）					
会派名	議 員 名 ○は会派代表者	支出総額	収 入 内 訳		返還額
			町からの交付額	会派（議員） 負担額	
新政会（6 人）	○秋山 富雄 中川 久男 大崎 勝治 堀籠日出子 松川 利充 大須賀 啓	639,820	360,000	279,820	0
七ッ森（5 人）	○中山 和広 桜井辰太郎 上田 早夫 浅野 正之 馬場 久雄	272,662	300,000	0	27,338
ようざん 鷹山会（2 人）	○平渡 高志 堀籠 英雄	129,349	120,000	9,349	0
公明党（1 人）	○伊藤 勝	61,483	60,000	1,483	0
共産党（1 人）	○藤巻 博史	61,510	60,000	1,510	0
無所属（1 人）	高平 聡雄	123,334	60,000	63,334	0
合 計（16 名）		1,288,158	960,000	355,496	27,338

※全議員数は 18 名ですが、2 名の議員は交付を辞退
しておりますので 16 名の交付となりました。



町から交付を受けた政務調査費の支出（交付）総額は **932,662 円**です

(960,000 円「交付額」－ 932,662 円「支出額」＝ 27,338 円「返還額」)



内訳の説明

- 調査研究費：視察研修に行った費用
- 資料購入費：図書を購入した費用
- 研修費：講演会、議員研修会に行った費用
- 事務費：議員手帳等を購入した費用
- 資料作成費：町政報告会の資料を印刷した費用

調査研究ってどこに行って、どんな調査をしたの？

- 新政会【沖縄県読谷村議会】(22.12/15～12/17)
 - ・議会活性化への取り組みについて
 - ・米軍施設について
- 七ッ森【千葉県九十九里町、九十九里小学校】(23.2/15～2/16)
 - ・学力向上のための取り組み
- 鷹山会、公明党、共産党【秋田県横手市】(23.2/2～2/3)
 - ・横手市の豪雪の危機管理・除雪ボランティア

広報調査特別委員会 作成についての重要点を学ぶ

【視察地】 シェーンバツハ・サボー（東京都千代田区） 【視察月日】 7月28日～29日

【視察者】 堀籠英雄 委員長 平渡高志 副委員長 秋山富雄 委員
堀籠日出子 委員 伊藤勝 委員 藤巻博史 委員

【視察目的】 よりよい議会だより作成のため、全国の町村議会が合同に集う研修会に参加し、作成技術を学んだ。



第74回全国町村議会研修会が開催され、480町村が参加し、本町からは広報編集委員全員6名と事務局が参加した。
第一日目は「わかりやすい文章表現・表記」「議会広報リニューアルの視点」「広報活動での著作権」の3つの講演を受けた。
二日目は、3分科会に分かれ、城市 創氏、芳野政明氏、深沢 徹氏による議会広報クリニック

が行われた。
当日は、15町村が議会の広報のクリニックを受け、読みやすさ、伝えやすさの紙面づくりについて厳しい評価がされた。
研修所感
広報作成には著作権、肖像権の重要性を再度認識するなど、新たに得たものが多かった。
報告者 堀籠日出子委員



10月20日 山形県真室川町の議会広報委員との研修

吉岡小学校 六年
おおくま
大熊 来星さん



大好き!!

大和町

宮床小学校 六年
あさの
浅野 晴輝くん



楽しかった修学旅行

私たち六年生は、岩手県に修学旅行に行つて来ました。小岩井農場ではグループで自主研修をしました。ハンモックに乗ったり、人生初のジンギスカンを食べたり、楽しい思い出ができました。二日目のえさし藤原の郷では、平安時代の貴族が食べていたごはんや建て物を見ました。床がつるつるですごくすべりました。昔のくらしが良くわかりおもしろい所でした。修学旅行では、岩手の良さをたくさん知ることができましたが、一番の思い出は、友達と楽しく過ごしたことです。岩手と同じように、自然と歴史ある大和町で、この友達と過ごしていただけることうれしさを再確認できました。

未来の大和町

ぼくは、大和町がもっと有名な観光地になつてほしいです。そして、有名な食べ物などもできてほしいです。なぜかというと、大和町に来る観光客が増えると、新しい道路や交通機関ができて、ぼくたちが生活しやすくなるからです。今は、車がなければ病院や買い物に行くことができません。子どもやお年よりは、とっても困ります。なので、大きな建て物ができると、大和町がもっと発展してほしいです。ぼくは、いつも道で会う人には必ずあいさつすることを心がけています。ぼくがあいさつをすると、おばあちゃんやおじいちゃんが笑顔であいさつをかえしてくれます。ぼくは、それがとてもうれしいです。ぼくは、これからますますあいさつを続けていこうと思います。

楽しかった運動会

10月1日大和町保育所の親子運動会が開催されました。親子でのダンスやかけっこなどで楽しい一日を過ごしました。



編集後記

議員年金廃止

地方議会議員の年金制度は、昭和37年の創設以来、幾多の改正を経て今日に至りました。しかし、全国的に実施された、いわゆる平成の大合併が大規模かつ急速に進んだことによる議員数の急減に加え行政改革に伴う議員数や議員報酬の削減が行われたことにより、財政状況が急速に悪化しました。(都道府県議会議員共済会は、平成34年に積立金枯渇の見込み)。平成23年6月1日をもって地方議会議員年金制度は廃止となりました。

広報編集委員 伊藤 勝

議会を傍聴してみませんか?

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。場所は役場3階です。

次回定例会は
12月13日(火)から
12月16日(金)までの予定です。

大和町議会事務局
☎ 022-345-7506
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報調査特別委員会

編集発行責任者
議長 大須賀 啓
編集委員
委員長 堀籠 英雄
副委員長 平渡 高志
委員 堀籠日出子
委員 秋山 富雄
委員 伊藤 勝
委員 藤巻 博史